

# 全現場で顔認証活用し入退場管理

## 作業員の就業履歴を正確に管理

大林組

### 全社における業務のデジタル化推進

大林組は、全社における業務のデジタル化推進の一環として、NECの入退場管理サービス「建設現場顔認証」や「グリーンサイト」を採用し、国内の全建設現場に20年度中に順次導入する。「建設現場顔認証」や「グリーンサイト」は、作業員の現場入退場時にタブレットやスマートフォンなどの端末を用いて、顔認証(生体認証)による本人確認を行うとともに、GPS位置情報取得することにより、「誰が」「いつ」「どこで」入退場を記録したかを正確に把握できるシステムとなっている。



各システムの連携概要

現在、建設業においては、技能や経験が適正に評価される環境作りを推進している。また国土交通省は、労働者の高齢化や、新規入職者数の減少による労働力不足が大きな課題となっている。国土交通省は、建設業界の環境整備を目的に、官民一体となった技能労働者の資格や社会保険の加入状況、建設現場の就業履歴などを業界横断的に登録・蓄積する建設キャリアアップシステムの本運用を19年4月から開始

し、公共工事での活用を徹底しつつ、23年度からは民間工事を含めて完全移行することとしている。建設キャリアアップシステムに蓄積した就業履歴データが作業員の退職金計算に活用されることになるため、作業員の就業履歴を建設キャリアアップシステムへ正確に登録する必要性がますます高まっている。

今回導入するNECの「建設現場顔認証」や「グリーンサイト」は、顔認証(生体認証)による本人確認と、GPS位置情報の取得によって、「誰が」「いつ」「どこで」入退場を記録したかを正確に把握できる。この入退場情報は、M/Cデータプラスが提供する安全書類管理サービス「グリーンサイト」の通門管理システムと連携しており、「グリーンサイト」経由で建設キャリアアップシステムへの就業履歴に自動登録される。

大林組は、顔認証によって取得した入退場情報を、20年度下期から、大林組認定基幹職長(通称「ス

ーパー職長)および大林組認定優良クレインオペレーター(通称「スパーオペレーター」)の手当支給のために必要となる従事日数報告書にも連携させるほか、今後、建退共証

紙の請求処理業務なども活用していくことを予定している。建退共証について、大林組では、従来から公共工事のみならず民間工事においても同社の負担で幅

広く交付しているが、顔認証によって取得した入退場情報を用いて請求処理業務を行うことにより、大林組のみならず協力会社における業務の効率化にも寄与していく。